

## 地域戦略人材塾

### 第12回「観光デジタルマーケティング」

(講師：観光産業ニュース「トラベルボイス」代表 鶴本 浩司先生)

#### コメントシートのおまとめ

今回のコメントシートには、特にご質問、ご要望等はありませんでした。皆さまの感想などを以下に取りまとめましたので、ご覧ください。

- ・考え方の転換など、応用できそうだと気付かされました
- ・どういうキーワードで町が検索されているか調べてみたい。また、どういうキーワードで検索させるかを考えたいと思いました。
- ・人は旅行等を決めるとき、多くの方が旅行者の投稿写真に影響されているということは新たな発見でした。
- ・ソーシャルメディアの有効な活用方法について、業務に活かそう。
- ・観光に限らず、他との差別化や強みをアピールできるフレーズを考えることやストーリーを作ることで、差別化できそう。普段の業務は観光と関係のない分野ですが、課題解決のために以上の2点を取り入れてみたいと感じました。  
熊本県のくまもんの失踪事件がすごく考えられていて面白かったです。
- ・長野県須坂市は、「蔵の町須坂」というフレーズをうりにしていますが、講義をきいて調べてみたところ、他にもそのような市町村があり、検索結果もトップではありませんでした。  
須坂のアピールポイントはなにかと考えた時に、ぼたもち石積みという伝統的な建物に使われている土台のことを思い出しました。「蔵とぼたもち石の町」というフレーズにして、映えスポット（映えるか…？）とし、地元企業とタイアップしてぼたもちを名物として売り出す、というアイデアを思いつきました。古き良き街並みと、おいしそうなぼたもちが伸びる画像で映えを狙えるか！？  
素人目線の思いつきでしかありませんが、色々なアイデアが頭の中に浮かんで来てとても楽しくためになる講義でした。自分の担当業務にも活かしています。ありがとうございました。

お忙しい中、皆さまからいろいろご感想等を頂戴いたしました。

いろいろ気付きがおありだったようで、良かったです。

ありがとうございました。

地域戦略人材塾 事務局